

オンブズマンによる子どもの人権学習講座 in 国立第三小学校

- 一日目 権利のオークションワークショップ
- 二日目 「考えてみよう、子どもの権利」



成瀬オンブズマン

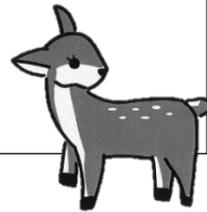
掛川オンブズマン



子どもの権利は「子どもだから」と制限されがちであることや、子どもが健やかに成長するためにも、子どもの権利条約が必要であることを勉強しました。

子どもの権利条約4つの原則

1. 命を守られ成長できること
2. 子どもにとってもっとも良いことを一番に考えること
3. 子どもが意見を言えて参加できること
4. 差別のないこと



ゲームでわかる、子どもの権利 for くにたち人権月間2021イベント

1月6日くにたち駅前市民プラザで

第一部 小学1～4年生向け

「はこのなかはなあに？」

(手探りで当てよう、最後に大切なものが…?)

第二部 小学5年生～中・高生向け

「ケンリのオークション」

(欲しい権利を競り落とそう!)

のワークショップを行いました。

子どもの権利や人権を身近に感じられ、自分自身が大切な存在であること、自分と他の人との考え方や物事の捉え方の違いが分かりました。参加の記念に、きらきらオリジナルペンを作りました。



楽しかったなあ

ひみつは
まもります
電話代は
タダです

フリーダイヤル



なんでもOK なやみゼロ

0120-70-7830

受付時間

月～金 午前8時30分～午後5時(祝日のぞく)

✉ sec_ombudsman@city.kunitachi.lg.jp

☎ オンブズマン事務局 042-505-5127

メール送信
QRコード



相談フォーム
QRコード



直接くる時

国立市役所 北庁舎27番窓口

予約なしでの直接来所もOK!

くにたち子どもの人権オンブズマン機関紙

第33号 2022年1月

発行：国立市オンブズマン事務局

きみの人権を守る

子どもオンブズマン つうしん 通信

オンブズマンこらむ

子どもの権利は「子どものわがまま」?

子どもオンブズマンは、子どもたちの持っている「子どもの権利」を大切にしています。そのひとつに、子どもが、自分たちに関わることについて「意見を言う権利」というものがあります。日本ではこの「意見を言う権利」があまり大切にされていないんじゃないかな?と感ずることがあります。

ときどき聞かれるのは、「子どもに権利なんて与えたら、わがままするようになる」というおとなの意見です。…ちょっとまって?ほんとうにそうでしょうか。

子どもだって、ひとりの人間です。自分の考えを持っています。そして、子どもが自分の考えを伝え、それをおとなに聞いてもらい、おとなも自分の考えを伝える。そうやって、子どもとおとなが対話していくなかで、子どもは成長していくことができます。

おとなであっても子どもであっても、言っていることややっていることが、ほかの人の迷惑になるようなことだったりすることはあります。でもそれは、権利を正しく使っているということにはなりません。「権利を大切にすること」と、「正しくない権利の使い方まで認めること」は、別問題です。同じものと考えてしまってはいけません。

子どもとおとながきちんと対話して、何がおかしいのか、どうして勝手なのか、理解するよう努力することが大切です。

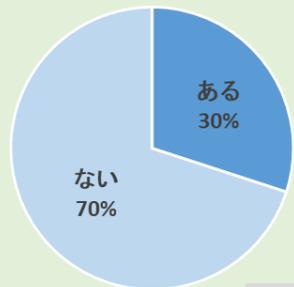
自分の気持ち、考えを伝えることは、むずかしいこともあるかもしれませんが、でも、みんなには自分の気持ちや考えを伝えてもいいんだ、間違えてもいいんだ、ということを知っておいてもらいたいです。また、おとなも子どもには「意見を言う権利」があること、子どもとの対話が大切なことを知っておいてほしいです。

そして、いやなこと、モヤモヤすること、なんでも子どもオンブズマンに話してみてください。みんなの声を待っています。

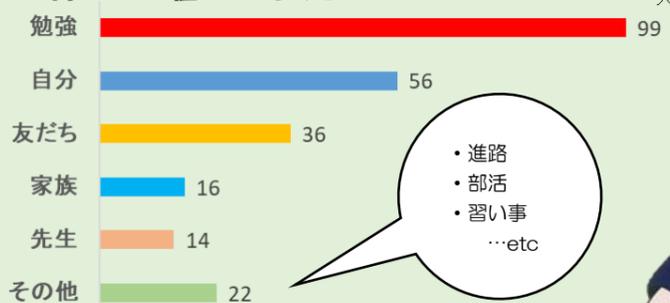


なるせ
成瀬オンブズマン

質問1. あなたは、今、悩んだり困ったりしていることはありますか？



(あるを選んだ人)
何について悩んでいますか？



- ・進路
- ・部活
- ・習い事
- …etc

昨年と同じで、勉強のことで悩んでいる人が多く、その他では部活が多くなっています。

質問4. 子どもオンブズマンがみなさんに配っているカードを持っていますか？



質問5. 子どもオンブズマンはフリーダイヤル(無料)で相談ができることを知っていますか？

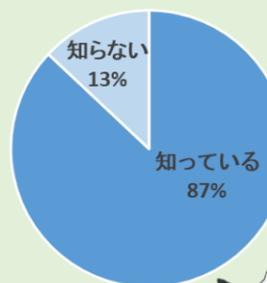


質問6. 手紙で相談できるオンブズマンレター(無料)を知っていますか？



イラストは東京都立第五商業高校イラスト部のみなさんが描いてくれました

質問2. くにたち子どもの人権オンブズマン(子どもオンブズマン)を知っていますか？



子どもオンブズマンアンケート

国立市の公立中学校3校の2年生にアンケートに答えてもらい、425人から回答がありました。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、いろいろと制約が多い一年でした。アンケートから、みんながどんなにがんばっているかわかりました。また、教えてくれた「条例を作る大人に思うこと」は、条例作りに役立てたいと思います。その他意見は、子どもオンブズマンとして何が出来るか考えたいと思っています。

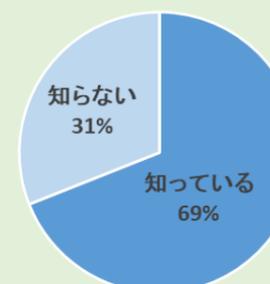
子どもオンブズマンのことをたくさんの方が知ってくれています。今後も頼りになる存在でありたいと思います。いつも要望のあるSNSの相談は、セキュリティに課題があり、まだ検討が必要です。「オンブズマンに伝えたいこと」には大きな力をもらいました。本当に嬉しいです。今後も、要望の実現に向けて努力していきます。

ご協力ありがとうございました！

ツイッターでつぶやいています。ぜひフォローしてね！



質問7. 子どもたちには、「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」があって、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が保障されていることを知っていますか？



質問3. 子どもオンブズマンは、子どもの人権を守るため、あなたの話を聞いて一緒に考えたり、あなたの意見を家族や先生に伝えたり、解決に向けて一緒に頑張ることを知っていますか？



質問9. 新型コロナウイルス感染症の影響で、みんなの生活が変わりました。あなたの生活で変わったことは何ですか？

- ・マスク手洗いなどの感染予防対策をするようになった
- ・行事などがなくなり、外出も部活も制限されてしまい、たった三年間の中学校生活が満喫できていない
- ・外出や友だちと会う機会が減った
- ・祖父母の家に行けない
- ・マスクを常にしているからはずした時に恥ずかしい
- ・家にいる時間が増えて、新しい趣味ができた
- ・マスクで友達の表情がわからない
- ・家族といることが多すぎて苦痛
- ・発表の場が減ったのでやりがいを感じられない
- ・家族とよく話すようになった
- ・いろんな人としゃべれないから仲良くなれなかったなど

質問10. 国立市は、(仮)国立市子ども基本条例を作ろうとしています。条例を作る大人に思うことがあれば教えてください。

- ・子どもの視点からの意見を尊重してほしい。子どものことを信じてほしい
- ・大人の話にも子どもを入れ、未来を生きる人の意見を第一に考えてほしい
- ・子どものための条例であれば子ども達の意見も聞いてほしい
- ・思ったことを気軽に伝えることができる仕組みがあると嬉しい

その他、こんな意見もありました。

- ・正式な更衣室が学校にない
- ・学校で生徒たちの個性をつぶし過ぎだ

オンブズマンに伝えたいことでは、たくさんの感謝と激励をもらいました。ありがとうございます。一部を紹介します。

- ・スクールカウンセラーが週に1回しか来ないので、他の日に学校に来て相談できる場所を作ってほしい
- ・頑張ってください、頼れる場所があるのはありがたいです。
- ・年に一度などクラスに来て、オンブズマンに子どもオンブズマンの大切さを伝えてほしいです。

質問8. 令和3年4月に「東京都子ども基本条例」ができました。ここには、子どもの目線に立って、子どもの意見を聞く仕組みを作り、誰もが大切にされる社会を作ることが大切だと書いてあります。知っていますか？

